



特別企画 「チェロの音楽会」 開かれる

11月4日(土)14時より サントリーホール小ホール

日本チェロ協会初めての催し「チェロの音楽会」が約100人のチェロ仲間、お客様の参加を得て開催されました。プログラムの前半はチェロを中心とした室内楽演奏会。サントリーホール小ホールを舞台に、ギターとのデュオから16台のチェロアンサンブルまで多彩な曲目が披露されました。

後半は41人によるチェロアンサンブルを、堤剛会長をはじめ評議委員の先生方のリードのもと楽しみました。曲目はビートルズの「レディ・マドンナ」(会員の石島栄一さん編曲)とクレンゲルの「讃歌」。四十余人のチェリストがステージいっぱいに並んだところでサプライズ・ゲスト、ヨーヨー・マさんが登場、一堂ビックリ! 堤会長からのお願いを聞いて下さり、バッハの無伴奏チェロ組曲を午後と夜のコンサートで全曲演奏するというハードなスケジュールにもかかわらず、その合間を縫って駆けつけてくださいました。その上、ヨーヨーさんは自らアンサンブルにも加わり、「レディ・マドンナ」を皆さんと一緒に演奏、感動のひと時でした。

なお、当日は渡辺亮さんがステージマネージャーとしてボランティアでお手伝いくださいました。昨年のICC in 神戸でも運営ボランティアとして活躍。その経験を生かして円滑な舞台進行をしてくださりました。また、リュウカンパニーの池端龍男さんに写真撮影をお願いいたしました。みなさま、どうもありがとうございました。

「チェロの音楽会」プログラム

※敬称略(会員の名前のみ掲載します)

1. 演奏会

ブルグミュラー：3つのノクターン 北村貞幸 他1名
 ショパン：ポロネーズ・ブリランテ 住野泰士 他1名
 ブラームス：ピアノ三重奏曲第1番より第1楽章
 河野美也 他2名
 ショパン：チェロとピアノのためのソナタ短調作品65
 より第1楽章 三木隆二郎 他1名
 チャイコフスキー：ペッツォ・カプリツィオーソ
 森 愛喜 他1名
 J.S. バッハ：シャコンヌ(チェロ四重奏)
 石島 栄一 谷口 仁宏 堀内 純一 他1名
 エルガー：威風堂々、アメージング・グレース(チェロ
 合奏 編曲・指揮/小川泰則) 加藤美千代 他15名

2. みんなで弾こう

【参加者】

堤剛 中島頭 堀了介 荻田雅治 倉田澄子 山崎伸子
 (以上、評議委員)
 石島栄一 小川泰則 加藤美千代 北村貞幸 河野美也
 末松悦子 住野泰士 谷口仁宏 堀内純一 三木隆二郎
 水上美亜 都もと子 森愛喜 他21名

3. 懇親会



参加者の声

「思い出に残る感激」 小川 泰則 (R-238)

「チェロの音楽会」に16人のチェロアンサンブルで参加させて頂きました。当日は、ヨーヨー・マさんもスペシャルゲストで来て下さり、思い出に残る会となりました。コンサートでは、チェロと他の楽器の組み合わせの楽しさや面白さ、合奏する喜びが感じられる演奏でした。

プログラム後半では評議委員の先生方も参加して下さい、四十人以上での大合奏となりました。レディ・マドonnaのダイナミックなリズム感や、讃歌の美しいメロディ、クライマックスでの豊かなハーモニーなど、ホール中にチェロの音が溢れていました。合奏練習の時、ヨーヨー・マさん登場となりました。チェロが大勢いるのに驚いた表情でしたが一緒に演奏して下さい、スピーチでは「チェロはバスラインもメロディラインも演奏できるナイスな楽器です」とおっしゃっていました。いつでもエネルギーで、人を惹きつける魅力に溢れた方でした。

私達のチェロアンサンブルは、千葉県松戸市、柏市に住むアマチュアの団体で、月に一回集まって練習しています。初心者の多いグループなので、「他のパートをよく

聞く」や「指揮に合わせる」などの基礎練習が中心ですが、同じ楽器同士、相談したり教え合ったりしながら楽しく活動しています。今後もチェロ協会のイベントに参加したいと思っています。ありがとうございました。



「夢のひとつとき」 末松 悦子 (R-143)

お祭りの日を待つ子供のような心境で参加した「チェロの音楽会」。その第1部は個別の発表会でした。熱のこもった演奏が終わるたびに心暖かい拍手が送られます。演奏スタイルもレベルもみんな違っているけれど、それぞれベストをつくして持てる力を出し、そのありのままを受け入れて包みこむ観客のやさしいまなざしが、会場の中に溢れていました。弾き終えた演奏者がほっと小さなため息をつき、緊張がとけて顔がゆるむと、こちらまで自分が弾き終わったような錯覚をおぼえます。自分がその曲を練習してきたわけではないのに、ひとりでに自



分をその姿に投入し、その方の達成感を分けていただいたような気持ちになりました。そんなプロの演奏会とはひと味ちがう音楽会に、アマチュアの醍醐味があるのかもしれません。

第2部は全員参加のアンサンブル。当日はじめての合わせ練習をしていると、突然、扉が開いてヨーヨー・マが登場したのです。隣の大ホールで演奏会とは事前に聞いていましたが、本当にその忙しい中を来て下さるなんて夢のような話です。彼は「やあやあ」というようにニコニコしながら、ステージの前を横切ってツカツカと私の後ろの席に座り、その席の人の楽器を借りて「さあ、みんな一緒にやろう」と言うのです。えーっ、こんなことがあっていいの？ 私の前の席には堤剛先生。後ろにはヨーヨー・マ。二人の偉大なマエストロに挟まれた私は「レディ・マドンナ」を弾きながら、頭はクラクラ、心臓バクバク。あっという間の数分間。かくして私はヨーヨー・マの前のプルトで弾いた経験をもつ稀有なチェリストとなったのでした。



「マ氏の飛び入りに興奮」 石島 栄一 (R-016)

会員番号R-016の石島です。先日の「チェロの音楽会」に参加した感想を、というご指名を賜りましたので乱筆乱文ご容赦下さい。



私はJCSの会員である堀内さんや谷口さんらと共に、無謀にもバッハのシャコンヌ（チェロ四重奏版）にチャレンジした結果、途中で乱れ狂ったリズムからの生還までのドキドキハラハラのドラマなどがあって「これぞ音楽の醍醐味(?)」という体験をしましたが、何とか曲の最後まで辿り着けたのでそれはよしとして、当日は大ホールでバッハの無伴奏の演奏会があったヨーヨー・マさんが、ステージの合間に顔を出してくれましたので、私から見た「その時」を紹介したいと思います。

我々は丁度後半の「みんなで弾こう」のコーナーに入り、40人ほどでビートルズのレディ・マドンナをさあ弾こうか、というところでした。もしかしたら顔を出すかもしれないという噂は参加者に広まっていたので、うわっ、本当に来た、という異様なざわめきの中、笑顔で登場してきたヨーヨー・マさんは、旧知の仲である堤剛



さんとの再会を喜び、「このように大勢が集まって一緒に演奏できるのは、他の楽器では難しい。チェロは素晴らしい」というような挨拶をした後、参加者の楽器を借りて合奏に飛び入り参加してくれたのです。おっ、という声が出る中、たまたまレディ・マドンナは、私がチェロ合奏用にアレンジした楽譜だったために、堤剛さんから「テンポがよくわからないので指揮を」という突然の指名が私に。堤剛さん以外にも、堀了介さん、荻田雅治さん、中島顕さん、山崎伸子さん、倉田澄子さんという日本を代表するプロの方々がトップに座られている中で、私の指揮はあり得ないと思いつつも、誰かがやらねばと腹をくくった次第です。

音を出すのは世界で初めての楽譜ですが、いざ始めてしまえば特にテンポが揺れるところもなく、錚錚たるトップの方々がアマチュアのメンバをリードして順調に曲は進み、指揮をしている私もホッと一息です。ふと2番パートの一番後ろのプルトで弾いているヨーヨー・マさんを見てみると、なんと、楽しそうに曲を弾きながら、笑顔で私を見ているではありませんか。目が合っていましたよ。いくら簡単なアレンジだといっても、初見の曲です。それを、弾きながら楽譜を見ないで指揮者を見ているとは、まさに世界の七不思議状態です。

無伴奏を2ステージで全曲弾くその合間を縫っての息抜き(?)は、曲が3分間、登場から退場まで全て含めて10分もなかったと思います。最後は「これからもチェロを楽しみましょう」と言って会場を後にされました。短い時間でしたが、参加したアマチュアにすれば「ヨーヨー・マと同じステージで演奏した」という記念ですし、私にとっても忘れられない思い出となりました。参加して頂いた評議委員の先生方にはもちろんですが、今回のイベントを支えて下さった事務局の方々に心から感謝したいと思います。特に、今回をもって別の業務に移られる溝口さん、本当にありがとうございました。



協力事業の報告

スティーヴン・イッサーリス プレゼンツ シューマン・プロジェクト2006 シューマン・チェロ曲 公開マスタークラス

主催：NPO法人 SEED OF ARTS
神奈川県民ホール

開催日 2006年11月10日（金）19時
会場 神奈川県民ホール小ホール

シューマン没後150年を記念して、スティーヴン・イッサーリス氏による公開マスタークラスが開催され、200名近い聴衆が集まりました。日本チェロ協会評議委員により選出された受講生3名の演奏に対し、氏より「非常にレベルが高かった」との感想をいただきました。また「指導時間を少しでも多くとりたい」との希望で、クラスは休憩なしで約2時間半通して行われ、イッサーリス氏の後進を育てる意欲と熱意を強く感じました。

<受講生と受講曲>

- 上村文乃／アダージョとアレグロ
- 加藤文枝／チェロ協奏曲
- 新倉瞳／幻想小曲集より作品73第一楽章、アダージョとアレグロ

第1回 ガスパール・カサド 国際チェロ・コンクール in 八王子 開催

開催期間 2006年11月23日（木）～12月3日（日）
会場 東京都八王子市 八王子市芸術文化会館
いちようホール

ガスパール・カサド（1897～1966）の名を冠した国際コンクールが開催され、日本チェロ協会も後援をしました。国際チェロ・コンクールでは異例の世界24カ国から参加申し込みがあり、予選には15カ国から31名の出場者が参加し、最終日の本選には聴衆がホールから溢れるほどの盛況となりました。

今回の大規模なコンクール開催にあたっては、会員の方々がボランティアの一員として参加されていました。またコンクール期間中は会場にて「カサド展」も同時に開催され、カサドの直筆譜や書簡等、カサドと日本を代表した女流ピアニスト原智恵子氏の当時の活躍を伝える多くの貴重な資料が公開されました。

コンクールの結果は以下の通りです。また日本チェロ協会会員の藤井泉さんが日本人作品最優秀演奏賞を受賞されました。おめでとうございます。

尚、大成功を収めた本コンクールは次回2009年の開催も正式に決まりました。

カサド国際チェロ・コンクール in 八王子

- 優勝：ソンミン・カン（韓国）
- 第2位：マーヤ・ボグダノヴィッチ
（セルビア／フランス）

- 第3位：ユンソン・ホン（韓国）
- 第4位：ダビド・レキロ（アメリカ）

ガスパール・カサド作品最優秀演奏賞：
ダヴィド・レキロ（米国）
日本人作品最優秀演奏賞：藤井 泉（日本）
聴衆賞：マーヤ・ボグダノヴィッチ
（セルビア／フランス）
原知恵子賞（最優秀伴奏者）：
小森谷裕子（日本）、斎木ユリ（日本）

次回“チェロサロン”開催のお知らせ

2007年3月、堀了介先生を講師にお迎えし開催を予定しております。テーマは「少しでも上手に弾ける方法」です。これまでのチェロサロンに参加されている方も初めての方も、この機会にぜひクリニックとアンサンブルを併せて楽しみませんか。詳細・申込み方法については、ホームページおよび同封のチラシをご覧ください。

日時：2007年3月4日（日）14：00～16：00予定
場所：サントリーホール・リハーサル室
主宰：堀了介先生（日本チェロ協会副会長）

事務局より

●お知らせ

12月より溝口雅子、小松潤子に代わり、松岡真弥が専任として事務局を担当いたします。同時に事務局へのご連絡方法を次の通り変更させていただきます。会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

電話：03-3505-1001（水曜日10：00～17：30）
ファックス：03-3505-1007

編集後記

12月より事務局を担当することになりました松岡と申します。これまで神戸で開催されたチェロ・コンGRESSや「チェロの音楽会」でステージスタッフとして関わらせて頂き、チェロの幅広く深い音に惹かれております。この度また新たな形で会員の皆様とお会いできることを嬉しく思います。3月のチェロサロンのご案内もさせていただきますので、ぜひ皆様揃ってご参加ください。

日本チェロ協会会報（JCS NEWS）第26号

2007年1月31日発行

発行：日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-13-1 サントリーホール内
電話 03-3505-1001 FAX 03-3505-1007

発行人：堤剛

編集：日本チェロ協会事務局

編集協力：リュウカンパニー